

# 堡壘岩リボル報告書

08/02/08

10/02/11

報告書作成

関西岩場環境整備 Net 西村 良信

神戸の地元クライマー有志が集まって、07年3月27日を第1回目として5名が約5回ほどの会議を行い、リボル計画案を練りました。

このリボル内容の説明会を07年6月1日19時30分～21時40分にて神戸登山研修所で、参加者15名(カイト・岳連・労山)のもとで行い、基本的なリボル案は承認されました。(別紙会議録をご参照下さい。)

その後、リボルする終了点の数量変更等の調整を行い、最終のリボル案を確定して下記日程にてリボル作業を行いました。

リボル概要:

終了点のリボル

フリールートのみ中間支点をリボル

ナチュラルロケーションのルートにボルトは打たない

日時 : 2007年9月29日(土) 曇一時雨 10時から17時

メンバー: 山岡・西村・三浦・一本松・松本・岡田・小野・中井・宮本・坂井・横飛・橋本

リボルヶ所: 詳細は以下の通りです。

1. 西陵ハング終了点・・・コリノックス2本
2. 「西陵ハング」・・・下から2P目Fixe1本
3. 「西陵ハングVer1」・・・中間支点Fixe2本
4. 西陵南面の終了点・・・コリノックス2本
5. 帰り道岩の終了点・・・コリノックス2本
6. 「帰り道」・・・中間支点Fixe4本
7. 「さんぼみち」・・・中間支点Fixe2本
8. 「役者」の終了点・・・コリノックス2本
9. 「役者」・・・上から3本(コリノックス)
10. 「コズミック」・・・上から1本(コリノックス)
11. 「ジグザグ」の終了点・・・コリノックス2本
12. 「凹角」の終了点・・・コリノックス2本
13. 「凹角」付近の終了点(2カ所)・・・コリノックス4本
14. サルカニカンテ、サルカニフェース(共用)・・・中間支点Fixe6本
15. 「檜のフェース」・・・下から3本(コリノックス)
16. 下降路・・・Fixeのラッペルステーションのケミカル型

迷彩スプレー処置箇所

1, 4, 9, 11, 12, 13, 16

# 堡塁岩

## リボルト対象ルート: 赤字

対象ルート	場所	グレード	リボルト本数	リボルト位置	終了点(ヶ所数)
	西稜				2
	1	チャイチャイ	5.10a		
	2	山本カンテ	V+		
	3	左ルート	V+		
	4	ノーマルルート	IV+		
	5	直登ルート	IV+		
○	6	西稜ハング	V+	2	1:P12 2:ハング上のボルト
○	7	西稜ハング Var1	5.10a	2	1:現状位置 2:もう少し上に
	8	西稜クラック	V		
	9	西稜ハング Var2	5.10c		
	帰り道岩				2
○	10	さんぼみち	5.11b	2	
○	11	みちくさ	5.10d	2	別図参照
○	12	帰り道	5.10b	2	
	中央稜西面				3
	13	スリーパーホールド	5.11b		
	14	ジグザグクラック	5.9+		*
	15	サンディフェイス	5.10c		
	16	マディコーナー	5.9		
	17	サラマン	5.9+		
	18	ナンバブラザーズ	5.9+		

○	19	役者	5.11a	4	現状位置にてリポート	*
	20	ハチの巣コーナー	5.10a			
○	21	コズミックライン	5.10a	1	現状位置にてリポート	*
	22	スカイフレーク	5.9			
	中央稜下部南面					4
	23	枯れ木のカンテ	V-			
	24	大ハングルート	5.12(Tr)			
	25	大ハング中央クラック	VI+			
	26	大ハング右	V+			
	27	電光クラックルート	IV+			
	28	中央クラックルート	V+		終了点ラッペルステーション	*
○	29	檜のフェイス	5.11c/d	3	現状位置にてリポート	
	30	凹角ルート	IV+			*
	31	2段ハングルート	5.10c?			
	32	カンタレス	5.11a			
	33	キープレフト	5.9			*
	34	ルンゼルート	IV			
	35	右クラックルート	IV			*
	36	カンテ横フェイス	V+			
	37	右カンテ	III+			
	中央稜下部東南面					1
	38	イカワフェイス	5.9			
	39	右カンテウラルルート	IV			
	40	下降路左フェイス	V			
	41	凹角	III			

		懸垂用支点				*
		サルカニフェイス				1
	42	トラバース～フェイス	VI-			
	43	サルカニフェイス上部	5.10c			*
○	44	<b>サルカニフェイスダイレクト</b>	<b>5.11a</b>	<b>6</b>		
	45	サルカニカンテ	V			
		中央稜東面				1
	46	チビッコフェイス・ハング	V-			
	47	チビッコフェイス・真ん中クラック	III			
	48	チビッコフェイス・右ルート	III+			
	49	左カンテライン	V-			
	50	斜上クラック	V-			
	51	直上ルート	V-			
	52	ビスケットチムニー	IV+			
	53	ビスケット中央凹角	V			
	54	ダッコちゃん	IV+			
		東稜				
			IV-			
		<b>合計</b>		<b>24</b>		<b>14</b>

## 堡壘岩のフリーの歴史

フリーとされるルートは、神戸の先鋭的なクライマーたちにより開拓されました。

その当時人工登攀のルートや、絶望的にその当時の技術では登攀の対象にならなかったルートを先進的なクライマーにより登攀の対象にする様になり、機が熟した1980年に一気に作られました。

ルートを作る動機は、ヨセミテから帰ってきた神戸の先進的クライマーたちがいつも集まり、熱を帯びてきた会話の中で

「80' 堡壘岩フリー・クライム」が開催され、東京からも戸田直樹を中心とするグループ・ド・コルデのメンバーも加わり多くのルートが誕生しました。

初登攀者のリストですが、1980年の作られた時は何人もの人が交代交代に取り付き成功しています。

その時に20数名の人たちにより作られたので「80,s」と表記してはどうかこの時はすべてトップロープでした。

以上、M氏談

## 堡塁岩 初登攀者リスト

リポルト対象ルート					
	西稜		初登攀者名	備考	了解・確認
1	チャイチャイ	5.10a			
2	山本カンテ	V+			
3	左ルート	V+			
4	ノーマルルート	IV+			
5	直登ルート	IV+			
6	西稜ハング	V+	80'S 1:三浦	以下 20 名ほどが一気に登る	
7	西陵ハング Var1	5.10a	80'S 1:戸田 直樹 2:蔡恵司		07/05/22 了解済み
8	西稜クラック	V			
9	西陵ハング Var2	5.10c	不明		
	帰り道岩				
10	さんぼみち	5.11b			07/05/16 了解済み
11	みちくさ	5.10d	山内教史 (六甲クラブ所属)		07/05/16 了解済み
12	帰り道	5.10b	改発歩 (六甲クラブ所属)		07/05/16 了解済み
	中央稜西面				
13	スリーパーホールド	5.11b			
14	ジグザグクラック	5.9+	難波兄弟		07/05/23 了解済み
15	サンディフェイス	5.10c			
16	マディコーナー	5.9			
17	サラマン	5.9+	80'S 1:李ヨウセイ 2:蔡恵司	以下 20 名ほどが一気に登る	
18	ナンバブラザーズ	5.9+			
19	役者	5.11a	鹿出 敏則		07/05/11 了解済み
20	ハチの巣コーナー	5.10a	難波兄弟		07/05/23 了解済み
21	コズミックライン	5.10a	難波兄弟		07/05/23 了解済み
22	スカイフレーク	5.9	難波兄弟		07/05/23 了解済み
	中央稜下部南面				
23	枯れ木のカンテ	V-			
24	大ハングルート	5.12(Tr)	80'S 1:戸田 直樹 2:難波		07/05/22 了解済み

25	大ハング中央クラック	VI+			
26	大ハング右	V+			
27	電光クラックルート	IV+			
28	中央クラックルート	V+			
29	檜のフェイス	5.11c/d	80'S		
30	凹角ルート	IV+			
31	2段ハングルート	5.10c?	80'S 1:戸田 直樹 2:平田 紀之		07/05/22 了解 済み
32	カンタレス	5.11a	鹿出 敏則		07/05/11 了解 済み
33	キープレフト	5.9	不明		
34	ルンゼルート	IV			
35	右クラックルート	IV			
36	カンテ横フェイス	V+			
37	右カンテ	III+			
	中央稜下部東南面				
38	イカワフェイス	5.9			
39	右カンテウラルルート	IV			
40	下降路左フェイス	V			
41	凹角	III			
	懸垂用支点				
	サルカニフェイス				
42	トラバース～フェイス	VI-			
43	サルカニフェイス上部	5.10c			
44	サルカニフェイスダイレクト	5.11a	鹿出 敏則		07/05/11 了解 済み
45	サルカニカンテ	V			
	中央稜東面				
46	チビッコフェイス・ハング	V-			
47	チビッコフェイス・真ん中ク ラック	III			
48	チビッコフェイス・右ルート	III+			
49	左カンテライン	V-			
50	斜上クラック	V-			
51	直上ルート	V-			
52	ビスケットチムニー	IV+			
53	ビスケット中央凹角	V			
54	ダッコちゃん	IV+			
	東稜				
		IV-			

## 別紙添付資料

### 07/06/01 リポルト説明会 議事録

日時:2007年6月1日(金)19:30~21:30頃

場所:神戸登山研修所 2階 中会議室

主催:KINet

内容:堡壘岩のリポルトについて

資料:KINetによるリポルト案(含、初登攀者リスト、ルート表、堡壘岩俯瞰図、FIXE ギアカタログ(林氏))

回覧資料:2006年度 KINet 活動報告書

参加者: 古賀英年(兵庫県山岳連盟理事長)

一本松文夫(兵庫県山岳連盟常任理事)

三浦靖男(ガイド)

根津富太郎(須磨勤労者山岳会)

玉井進吾郎(兵庫県勤労者山岳連盟会長)

石井

三輪文一(ガイド)

大串紘史(加島カシマルーズクライミングクラブ)

串畑速雄(加島カシマルーズクライミングクラブ)

林照茂(OCS)

松本憲親(KINet)

山岡人志(KINet)

西村良信(KINet)

新田育夫(KINet)

荒木美和(KINet)

#### (1) 会合を始めるにあたっての挨拶(山岡)(7:30-7:45)

各自の自己紹介

#### (2) ボルト案説明(7:45-8:20)

##### (a) 案作成の経過報告(三浦)

今年の3月2日にあったKINetからのリポルトの報告を受け、堡壘岩のリポルトが話題に上ったことをきっかけにリポルト案作成に着手。

3月27日 第1回の会合を古賀、一本松、根津、西村、三浦の5人で設ける。続いて4月10日に2回目、4月15日に3回目の会合を同メンバーで開き、今回の資料作成に至った。

##### (b) 案の内容説明(西村)

別添資料の通り(パワーポイントによる説明)

##### (c) リポルト作業〜安全の観点から(松本)

リポルトをする場合、1.作業する人の安全、2.登りにくるクライマーの安全、3.近隣の安全を考える必要があるが堡壘の場合は3は考える必要はない。2については午前と午後で作業エリアを分けるなどの対策が必要になる。また当日の案内係、**見張り**も必要。事前の告知でできるだけリポルト作業日の周知に努める。**作業しているエリアとそうでない登れるエリアをシフトを組んで分けて、作業を進めてことも考えている。**

3はこれまでの作業と同様、他者によるビレー、ギア類にはヒモを付けて落とさないようにする、FIX ロープによるセルフビレーなどを行う。これまで作業中は手袋着用が望ましいとしていたが、ドリル操作する場合については外すようにする。

ボルトについて、ステンレスだから大丈夫と過信せず**できれば全量テストを行いたい**。外見の目視によるチェック、音響テスト、染色テストの3種を行う。染色テストについては特殊な染料により傷を発見するもので勝山山岳会の南氏に依頼する。

資材は、メーカー側の言うことをそのまま信用してこれまで使ってきており、このようなテストが行われた例はない(林氏)。

### (3) 見交換(8:30-9:30)

今回欠席の笹倉氏より文書により下記のような提案があった。

1. 西稜では NP を用いて終了点を構築できるので終了点のボルトを打つ必要はない。
2. 凹角の終了点も同様の理由から不要。
3. 右クラックルートの終了点はもっと上の方がよい
4. コズミックラインの終了点は更に上部のラインを上ったところを作る方がよい。
5. チビッコハングの終了点はもう一つフェイスを登った上に作る方がよい。
6. 中央稜最上段はグージョンを一つだけ残し NP を用いて終了点を構築するのがよい。

1 について、既存のリングボルトなどが複数ありこれらを撤去して NP のみで終了点を構築することは面白いことだが、ボルトが長年に渡って利用されてきた事実があり、またボルトを撤去しただけにすれば新たにリングボルトなどを打たれる可能性があるため、今回新たにケミカルアンカーを設置する方が望ましいのではないかと。

トップアウト(終了点から歩いて降りられるルート)であり、ボルトをなくすこともありえるかもしれない。

2 について、凹角とキープレフトの現在の終了点は非常にビレーに適した場所に設置されているので、同じ位置でリボルトすることが望ましいのではないかと。

3 について、現場で岩の状態を見て打つ位置を決める。

4 について、上部フェイスは独立したボルダー課題になっており、コズミックは現在の終了点の位置で設定されているので位置を変更する必要はない。

5 について、今回設置しようとしている場所と笹倉氏の推薦する場所は同じと思われる。

6 について、1 と同様の理由によりケミカルアンカーを設置する方向で検討する。

欠席の大垣氏よりジグザグクラックに打たれているボルトを撤去したらどうかとの提案があった。クラックルートであるのでボルトはない方が望ましい。しかし、ここでは、過去危険なフォールが数多くあった(石井氏)。議論が分かれるところであり、早急な結論はここでは出さず、今回は KINet によるボルトの撤去というところまでは行わない方針で進めることにする。

欠席の舟橋ケン氏の HP に堡壘のリポートに関してのコメントが掲載されている。資材等の提供、岩場整備の周知に関して協力が得られることも書かれている。

終了点に立木を利用しているルート(サラマン、ジグザグクラックなど)についてはなくても良いという意見もあるが、立木を守るという観点からボルトを設置する方向で検討した(西村)。

昔の堡壘の写真を見ると今よりもずっと多くの木が茂っており、また大きな木が倒れているのも伺える(根津氏)。このまま立木を利用し続けられればいずれ枯れてしまうことにもなりかねない。ボルトで終了点を設置した方がよい。

初登攀者のスタイルを尊重することがリポートの方針であるが、堡壘岩の場合以下のような固有の事情がある。

・歴史が非常に古く、まだ装備も今のようなものではなく(ピトンやクサビなども利用)フリークライミングという概念も確立されていない時代から登られていたものもある。

・トップロープで登られた課題も多い。

・昔のスタイルに戻すという意味では、何も設置しないという極端なことになってしまう箇所もある。

・クラックルートでありながら現在のようなナチュラルプロテクションではなくハーケンを用いたり、A0、A1 などで登られることもあった。

このような数10年の歴史を鑑みたと、現在の装備、スタイルに合致した、また、将来を考えたリポートを心掛けるようにすべきであろう。

堡壘岩にくるクライマーは、ほとんどが、初級者～中級者のレベルのひとたちである。これを考慮したリポートを行うべきであろう(三浦)。

議論が大きいわかれ、結論がでない箇所に関しては、早急なりボルトは行わないことにする。

堡壘岩は、歴史のあるよく知られた岩場であり、ここでの岩場整備の方法が基準となって、他に影響することも考慮して慎重に行わなくてはならない。(古賀氏)

堡壘岩は花崗岩である。花崗岩に対するボルトの強度テストはこれまで KINet では行われていない。できれば、引き抜きテストなども行いたい。

#### (4) 全体討論のまとめ

◎参加のメンバー内では今回のリポルト案の提示内容について概ね問題ないということで合意できた。

◎7月28、29日にリポルトが実施できるように動いていく。

◎6月中には現地で掲示し、各団体等を通じて周知に努める。

◎リポルトと同時に清掃を行うことも検討する。

◎アプローチの手直し(林氏より資材の提供も可能)やFIXロープの掛け替えなども同時にできる範囲で取り組む。(ただしアプローチに関しては法人の持ち物であるため、手直し程度にし大々的には行わないこととする(古賀氏を中心に進める))

◎笹倉氏とは、早急に議論の機会をもつ。

作業写真



西稜 終了点 作業中



下降路 終了点 作業中



役者 リポルト作業中



西稜ハンク リホルト作業中



西稜ハンク リホルト作業中



サルカニフェース リ Holt 作業中



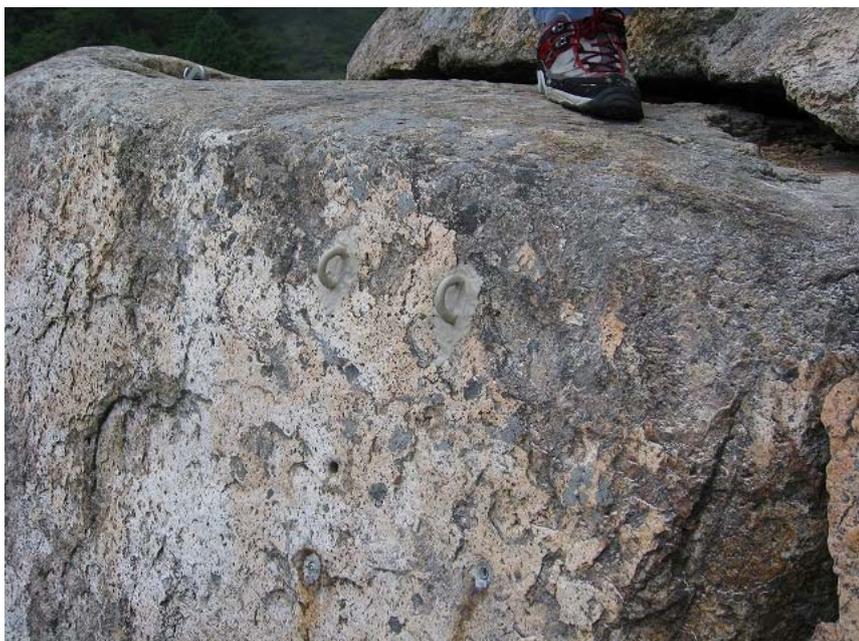
西稜 終了点



西稜 終了点



中央稜凹角 終了点



中央稜凹角 終了点 こんなにスッキリ  
しました



中央稜凹角 終了点 こんなにス  
ッキリしました



下降路 懸垂支点



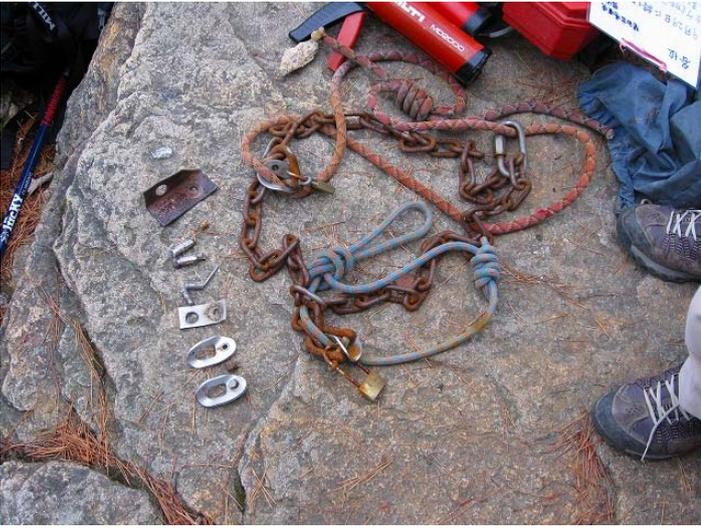
ジグザグ 終了点



役者 終了点



コスミック 終了点



撤去物



最後の講評